2022 年度　進学相談会　Q&A　まとめ

- 受験勉強、進路に関すること

大学生の皆さんはどのような入試対策をしていましたか？

・**総合型選抜の学生**：夏休みまでは共通テストをメインとしました。9～10 月は小論文などの対策。面接は弘前大学を自分でリサーチして、自分の考えをまとめて、10 月からの 1 か月間でいろんな先生に面接をお願いして練習しました。

・**一般入試の学生**：夏休みから本格的に勉強を始めました。国語・英語・数学は点数を上げるのに時間がかかるので、中心的に勉強しました。秋～冬は共通テストで、過去問を解いたり、暗記系を中心的に勉強しました。試験後は二次試験の勉強を本格的に始めました。赤本で傾向をつかんで、解き方や時間を意識して解きました。英語は英文を読むのに英単語が必要なので、毎日英単語を勉強して、空いた時間で文法を。国語と数学は、暗記系より、応用とかが必要なので、考え方を学ばないと力がついてこないと思います。

・**一般入試の学生**：苦手なものは高得点にならなくても、足を引っ張らないくらいまでにするのが大事。共通テストと一般でどちらも使う科目に力を入れるのが良いと思いました。共通テストで意識したことは、難しい問題ではなく、簡単なものを確実に解いていけるようにすること。問題序盤から中盤を確実にとれれば、6 割いくので安定的に得点がとれます。難しい問題に問われないで、サクサク解いていくのが良い。数学は同じ問題集を確実にできるようになるのが良いと思います。

・**一般入試の学生**：もともと医学科志望で勉強していたので、高校の方針として 2 年生から勉強を始めていました。一日で勉強しない時間はないくらい 5 時～22 時は勉強していました。朝 7 時 30 分に学校行って、20 時まで残って、予備校で 22 時くらいまで勉強しました。英語は、システム英単語を使っていました、2000 語くらい。過去問を解いていると知らない単語がたくさん出てくるので繰り返しインプットしていきました。

・弘前大学だけでなく、同じレベルの大学の過去問も学習しました。わからなかった英単語を覚えるようにしました。長文は、簡単な英単語で相手に伝わるように書けるように学習しました。

面接対策はどのようにしていましたか？

・志望動機は必ず聞かれると思うので、突っ込まれても自分の言葉で返せるように、志望理由書と面接でしゃべることが矛盾しないように頭に入れて、伝えられるようにしていました。練習したが、一言一句同じことを言えることより、その場で話ができることが大事だと思うので、友達にいろいろ質問してもらって、その場でこたえられるようにしていました。何を聞かれても困らないように、ニュースを見た。「こういうことあったんだな。」というレベルでもよいので、毎日目を通しました。
・面接ノートをつくり、自分の長所・短所を書き出す、担任の先生、他の先生相手で練習。文章を書くと読んでいるようになるので、箇条書きにしました。質問の傾向が人によって違うので、多くの先生と練習をした方が良いと思いました。

小論文対策はどのようにしていましたか？

・毎日ニュースや新聞を見て、トピックをノートに書いたり新聞を切り抜いたりして、考えを書いていました。最初は時間内に書ききることやまとまった文書を書くことが難しかった、早めに対策をしたほうが良いと思います。
・2～3 か月前から対策していたが、間に合わなかったです。知識をためる、文章の書き方など、早めの対策が必要。書き方の参考書も利用しました。
・ひとりだと視野が狭くなるので、先生に添削してもらい、同じテーマを 3～4 回書きました。いろいろな先生にも聞いて、考え方を広げるようにしました。

１日何科目くらい勉強していましたか？

・勉強時間を決めるより、１日で何を勉強するか決めたほうがやる気になりました。月曜は英語、火曜は数学、など１日に１～２教科で、間に毎日触れたほうが良い英語などを入れていました。

英単語はどのように覚えていましたか？

・声に出して書いていました。口も手も使えば覚えやすいような気がしていました。
・音声と一緒に確認できる単語学習のアプリを利用しました。スマホだとすき間時間で学習できます。

リスニング対策はどのようにしましたか？

・携帯のアプリで英語のニュースや英単語を話してくれるものがあったので、空き時間とかで聞いていました。耳を英語に慣らしつつ、入試と同じ形式で英語を流してくれるものもあったので、解いていました。

受験勉強の休憩時間はどのように過ごしていましたか？

・5～10 分の YouTube の動画とか、時間を決めて好きなものを１本見ていました。
・外で散歩したり、眠くなったら無理やり続けず、時間を決めてさっぱりさせていました。
・体を動かすことで気分転換になった。ストレッチとか散歩とか。夜遅くまで勉強はしなかったです。

看護師になるために高校生の時からできることはありますか？

まずは今の勉強を頑張って大学に入学することだと思います。また、ニュースを見て医療系や看護に関わることに幅広く目を向けて情報収集することで、心構えになると思います。
初対面の人との話す練習、聞き上手になることだと思います。患者さんから話したいと思ってもらえる聞き上手になる練習を日頃から行っておくことが良いと思います。

● 大学生活の関すること

授業やバイトなど、大学生活はどのような感じですか？

・授業が始まる時間や終わる時間は日によります、1 コマ 90 分で、1～5 コマ、8 時 40 分～17 時 30 分。空きコマで課題をやっています。授業後は部活やバイト。家では、課題や次の予習。時間があったら Youtube を見たり好きなことをしています。
・食事の準備が自分でするのが大変。洗濯も。バイト、遊びなどやりたいことがあり、自分で自分を管理しないと大変なことになります。誰も言ってくれないので、自分でラインを決めておかないと。
・看護の勉強は、看護とは何か、病気、薬などの基本、他職種の役割、チーム医療、2 年生は看護の具体的な方法を学ぶので、一気に専門的な内容になります。演習も入ってくるので実践的になってきます。ベッドを使っての学内の演習、3 年生には病院に入院している患者を受け持たせて頂きます。実習は 8 時 30 分から 15～16 時くらいまで、その後に記録を書いたり、カンファレンスで学内での話し合いをしたり。4 年生になると、訪問看護の看護師と一緒に高齢者施設での実習など外の施設での実習。その後は国家試験の学修や卒業研究。研究は 3 年生で担当の先生とテーマを決め、論文を読んだり、調査をするなどで進めていきます。
・附属病院で看護助手のアルバイトがあります。授業後の夕方や土日の朝のシフトなど、時間帯を選んで入ることができます。看護師として免許を持っていないので、看護師のお手伝いがメイン。病院のスタッフの動きがわかることは大きい。週２～３回くらい。18～22 時、7～11 時で時間を選べる。
（※看護助手のバイトに関する正式な情報は入学後にご確認ください。）

実習はどのような感じですか？

・基礎看護学実習は週２回附属病院に行って、患者を受け持って、基本的な看護ケアを学ぶものです。実習は楽しかったです。初めて患者を受け持った時は何を話してよいかわからず、距離の縮め方が難しかったです。演習でやったことを実際にやる場面では緊張しました。血圧を測ったり、清拭をしたが、友人との練習とは違って、年齢や疾患も様々なので、それに合わせて。友達だと気軽に話しながらできるが、患者は距離が友達ほど近くないので、ケアの中でのコミュニケーションが大変でした。
・演習で血圧測定がうまくできなかったが、練習して、実際の患者さんでうまく測れたときに、ちゃんと習得できたと思って、うれしかったです。
・受持ち患者さんを持たせて頂き、自身が関わっていき、患者さんの回復を目指します。患者さんへのケアから反応を見て、どうしたら回復に向かうことができるかを考えました。多職種とコミュニケーションをとったりなど、実際の現場での知識を得ることができました。

選択科目について教えてください。

・看護師のみ、または、看護師に加えて助産師または保健師または教職を選択できます。
・選択科目を履修するには、３年生で選抜試験がある。看護師に加えて選択科目を履修するため、選択すると科目が多くなり大変ではあるが、充実して夢に向かって学習できている。
※選択科目に関しては本ホームページの「イベント」の【オンデマンド動画コンテンツ】をご覧ください。

弘前大学や看護学専攻の魅力って何ですか？

・附属病院があるため、最先端の医療が整っている施設での実習が可能。校舎内はきれいで、実習室や機器が充実しています。図書館や時間外の利用ができる学習室があり、学習環境が充実しています。
・学部越境の授業があります。自分の視野が広がります。青森県の健康問題について深く学ぶことが出来るので、県内就職希望者はよいと思います。100 円昼食・夕食などの支援があるため、学生のためを考えた取り組みがあり魅力的。
・保健学科、医学科、心理支援学科があって、保健学科に 5 専攻があるので、各専攻の特徴を学ぶ授業があり、役立ちました。1 年生には教養教育科目で、他の学部の授業を受けられるので、看護以外の科目を選択して、思考の幅を広げられる学びができる大学と思いました。
・学内演習では現場の看護師や他専攻の先生から技術を教えてもらって、触れ合う機会があり、現場の知識が得られます。勉強しやすい環境にあると思います。
・放射線看護に関する教育は他大学にないので、強みと思います。

地域の健康増進のために学生が取り組んでいることについて知りたいです。

・岩木健康プロジェクトなどがあります。また、10 月の総合文化祭では医学展があり、検診のブースで血圧測定や骨密度測定などを行い、地域の人の健康に関わることができます。
・教員も地域貢献を行っています。自治体との協力で地域住民、高齢者への健康支援など。福島県浪江町の復興支援活動への関わりもあります。
・2022 年度の入学生からの新カリキュラムで、地域住民の健康の視点での授業・実習が強化されています。

弘前での生活はどのような感じですか？

・弘前は大学が多く学生の町なので、生活が楽しいと思います。
・近くにスーパー、ドラッグストアがあったりするので、買い物などは困りません。カフェやレストランも結構充実しているので、週末は友達と勉強したりしています。
・四季折々にイベントがある。春は桜まつり、夏はねぷた、冬は雪灯籠祭りなど。弘前はリンゴが有名。リンゴ収穫のバイトもあり、魅力的でした。